

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和04年10月12日

計画の名称	中国山地の豊かな自然を活かした広域周遊観光活性化計画											
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	岡山県											
計画の目標	中国山地の豊かな自然と、歴史文化施設や温泉地などの観光拠点を有する岡山県と鳥取県が連携し、中国横断自動車道(岡山米子線)、中国縦貫自動車道、鳥取自動車道及び現在整備が進んでいる地域高規格道路北条湯原道路を軸として、観光拠点へのアクセス性を向上させ、広く圏域外からの来訪者の増加を図るとともに、山陰と山陽を結ぶ広域的な観光エリアとしての魅力を高め、観光入込客の増加など地域の活性化を図る。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,565	A	1,565	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27~29平均値)	中間目標値 (H33末)	最終目標値 (H35末)
1	【岡山県・鳥取県 共通目標】 拠点施設の観光入込客数108万人(H27~H29平均)から112万人(H35)に増加 (4万人(3%)の増加) 【鳥取県・岡山県 共通目標】 拠点施設の観光入込客数3%(4万人)増加 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の年間観光入込客数 - H27~H29平均の年間観光入込客数) / (H27~H29平均の年間観光入込客数)	108万人	110万人	112万人
2	【岡山県 単独目標】 高梁川流域連携中枢都市圏における拠点施設の観光入込客数144千人(H27~H29平均)から149千人(H35)に増加 (5千人(3%)の増加) 【岡山県 単独目標】 高梁川流域連携中枢都市圏における拠点施設の観光入込客数3%(5千人)増加 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の年間観光入込客数 - H27~H29平均の年間観光入込客数) / (H27~H29平均の年間観光入込客数)	144千人	146千人	149千人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
広域連携事業	A11-001	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(主)新見川上線 布瀬 工区	現道拡幅 L=1.30km	高梁市						422	1.65	-	
	A11-002	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(主)新見日南線 足立 工区	現道拡幅 L=0.26km	新見市							229		-
	A11-003	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(主)北房井倉哲西線 草間工区	現道拡幅 L=0.15km	新見市							55		-
	A11-004	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(主)北房井倉哲西線 豊永佐伏工区	現道拡幅 L=0.30km	新見市							222		-
	A11-005	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(主)新見川上線 矢戸 工区	現道拡幅 L=1.20km	新見市							320		-
	A11-006	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	国道	改築	国道482号 上徳山工 区	現道拡幅 L=0.30km	真庭市							110		-

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
広域連携事業	A11-007	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一) 蒜山高原線 下長 田工区	現道拡幅 L=0.44km	真庭市						89		-	
	A11-008	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(主) 和気笹目作東線 万善工区	現道拡幅 L=0.27km	美作市							118		-
											小計						1,565			
											合計						1,565			

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
整備計画構成自治体・団体 (鳥取県、岡山県) 岡山県土木部道路建設課で中間評価を実施	令和4年10月
	公表の方法
	岡山県ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・A11-003(主)北房井倉哲西線草間工区の拡幅改良工事の完成等により、拠点施設である井倉洞(岡山県新見市)から満奇洞(岡山県新見市)の鍾乳洞群を結ぶ区間の幅員狭小箇所や線形不良箇所が解消され、観光バス等の円滑な交通が確保された。 ・A11-006(国)482号は、県境を跨ぐ県道大山上福田線(蒜山大山スカイライン)において積雪による通行止めの迂回路としても重要な路線であるが、幅員狭小ですれ違いが困難な箇所が解消され、安全性が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	
特記事項(今後の方針等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により観光入込客数は短期的な落ち込みが見られるが、令和元年までは観光入込客数が増加しており、本計画の推進により観光拠点へのアクセス性が向上していると推察され、一定の事業効果が確認できる。 今後、計画的に民間活動とタイミングを合わせた要素事業効果の早期発言を目指し、引き続き、本計画を推進し、最終目標の達成に向けて取り組んでいく。 ・事後評価時点の令和5年度においては、令和2年度以降の新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続している可能性があるため、事後評価時には引き続きその影響を考慮する必要がある。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	令和3年鳥取県・岡山県の観光拠点施設における観光入込客数	
	中間 目標値	110万人
中間 実績値	70万人	
2	令和3年岡山県の高梁川流域連携中枢都市圏における観光拠点施設の観光入込客数	
	中間 目標値	146千人
中間 実績値	89千人	